



火災がおきたら(駅)



**Q.広い駅構内で火災がおきても
すぐにわかるの?**



駅構内には、火災による熱や煙を検知し、作動する感知器が設置しており、駅長室で火災の発生がわかるようになっています。
火災が発生した場合、シャッターが避難に支障のない高さまで下り、煙の拡散・充満を防ぐとともに、駅員は排煙機を作動させ、消防署などへの通報や初期消火を行います。



Q.駅で火災がおきたらどうすればいいの?



火災を発見した場合は、煙のない方向へ逃げ、火災報知器のボタンを押すか、駅員までお知らせください。避難するための経路は二方向確保しておりますので、駅員の指示に従って落ち着いて行動してください。



地下鉄くんのワンポイント

避難するときは、ハンカチなどで口を覆い、できるだけ低い姿勢になり、煙等を吸い込まないようにしてください。また、駅のホームおよびコンコースには避難経路が掲出しておりますので、ぜひ、普段から確認しておいてください。